



医療機関向け製品の受注が拡大 高付加価値化でシェア向上図る

リバテープ製薬 株式会社



菊池市七城町の熊本第3工場

救急絆創膏などで知られるリバテープ製薬(株)。近年は医療機関向け製品の販売が好調で、同社売上の半分以上を占める。昨年初めから本格稼働している熊本第3工場(菊池市七城町)では、主力商品である個包装消毒剤を生産し、フル稼働中。同工場に隣接する第2工場でも、医療機関向けの大型絆創膏を生産しているが、7月には新型ラインを導入する予定だ。付加価値の高い製品づくりで、さらなる進化を目指している。



熊本第3工場で製造する個包装の綿棒型消毒剤「スワブスティック」



スイゼンジノリから抽出した保湿成分を配合した「咲水(さくすい)」シリーズ



今年5月に開催したイランで開かれた商談会

14年連続で増収

明治11年に製薬会社として創業し、100年以上の歴史を持つリバテープ製薬。昭和35年に家庭用絆創膏「リバテープ」の発売を始めた同社だが、医薬品や医薬部外品をはじめ、化粧品などの分野に事業の幅を広げ、順調に業容を拡大している。医療機関向け製品の受注が伸び、今年3月期決算で過去最高の売上高44億4千万円を達成。14年連続で増収を確保した。

医療機関向け製品の生産能力を拡大

医療機関向け製品は売上の5割以上を占め、そのなかでも主軸になっているのは個包装の外用消毒剤。「スワブパッド」、「スワブスティック」、「薬剤綿球」など用途に応じた商品を開発している。

完全滅菌タイプの綿棒型消毒剤「スワブスティック」は、包装ごとに電子線(光)滅菌処理を施すことで、非常に高い清潔レベルを実現。手術室などでも使用できる国内初の製品で、大型病院を中心に採用されている。サイズ展開を増やすなどの改良を重ね、綿棒型消毒剤では国内トップシェアを維持している。

昨年からは、同製品を製造する熊本第3工場(菊池市七城町)が本格

稼働し、生産能力が大幅に向上。また、同工場に隣接する熊本第2工場では、医療機関向けの大型絆創膏を生産しているが、今年7月には新型のラインを導入し、生産能力を約1.5倍に引き上げる予定だ。

「リマーユ」と「咲水」で商品展開

通信販売部門では、馬油成分や馬プラセンタ成分などを配合した「リマーユ」シリーズとして、ヘアケア商品とスキンケア商品を展開。また、スイゼンジノリ多糖体を配合した「咲水(さくすい)」シリーズは、高い保湿力が特徴で、スキンケアローションや洗顔料、スキンケアジェルなど7アイテムを発売している。開発本部との連携を密にしながら、さらなる商品開発やリニューアルを重ね、「リマーユ」と「咲水」の両シリーズで顧客獲得を図る。

製品開発と人材教育に力点

「トップシェアを持つ綿棒型消毒剤は改良・進化を重ね、さらなる拡大を図る。また、新商品にも積極的に挑戦し続けたい」という星子社長。昨年度から「スティック進化推進プロジェクト」をスタートさせ、綿棒型消毒剤の市場情報の収集・分析、製品設計などに一元的に取り組み、機能向上と販売拡大を目指している。新商品としては、経皮吸収型製剤の開発などを進めている。さらに、海外市場にも目

を向け、今年5月にはイランの商談会に出展。9月にはタイでの商談会に参加予定だ。

今年度からは、人材教育にも力を入れている。パート従業員から役員まで全社員を対象に、役職別に外部講師を招いての研修会を開催。製品づくりを支える人材に磨きをかけ、さらなる進化を目指す方針だ。



profile

星子 邦久 社長
ほしこ くにひさ / 熊本出身。1949(昭和24)年11月24日生まれ、67歳。74年同社入社、東京営業所営業部、熊本本社購買部、生産管理部勤務を経て、98年取締役管理本部長、2006年常務、12年7月社長就任。趣味は読書、料理、ゴルフ

DATA

所在地	〒861-0136 熊本市北区植木町岩野45
T E L	096-272-0631
F A X	096-275-1064
設立	1960(昭和35)年5月
資本金	1億円
事業内容	医薬品・医療機器・医薬部外品・化粧品・健康食品の製造販売
売上高	44億4千万円(17年3月期)
従業員	260人
出先ほか	本社・工場(熊本市北区植木町)、熊本第2・第3工場(菊池市七城町)、東京支店(東京都新宿区)、大阪営業所(大阪府天王寺区)、熊本営業所(熊本市北区植木町)、商品センター(菊池市七城町)
U R L	http://www.libatape.jp